

しずおか市
介護相談員だより



2007年10月 第9号

発行：介護相談員だより
編集委員会

事務局：静岡市役所
福祉部介護保険課

TEL 054-221-1202

FAX 054-221-1298

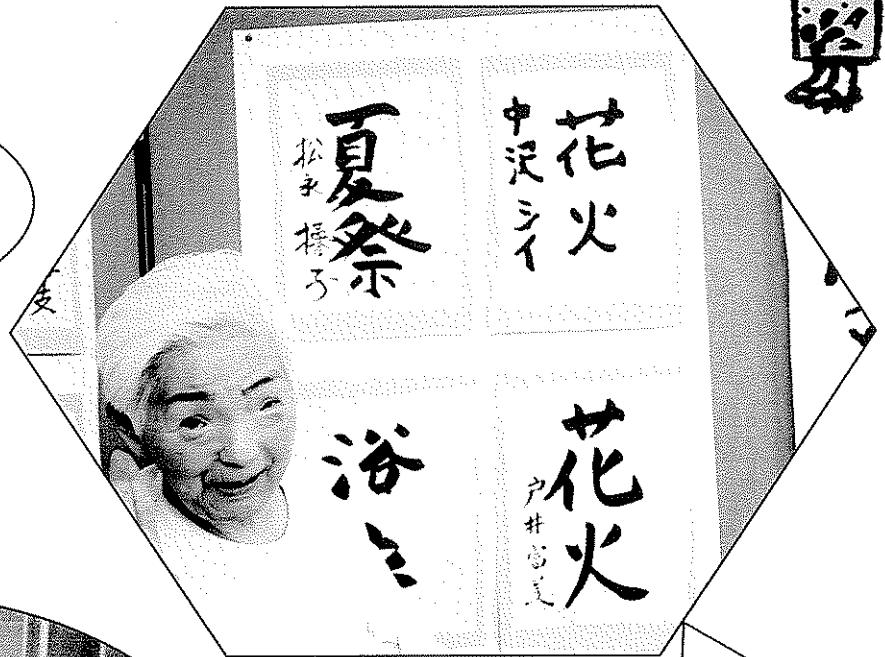


☆猛暑に負けず☆

笑顔の
夏まつり



地域の太鼓保存会の
皆さんと！
私も叩きました。



私も書きました、
Vサイン！
【習字クラブ作品展】

ヨーヨー釣りを
楽しみました

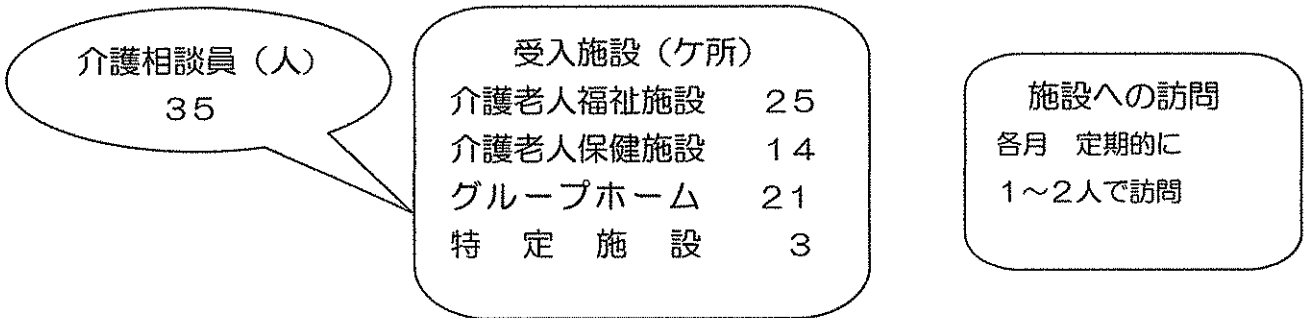


介護相談員を通じての相談事例

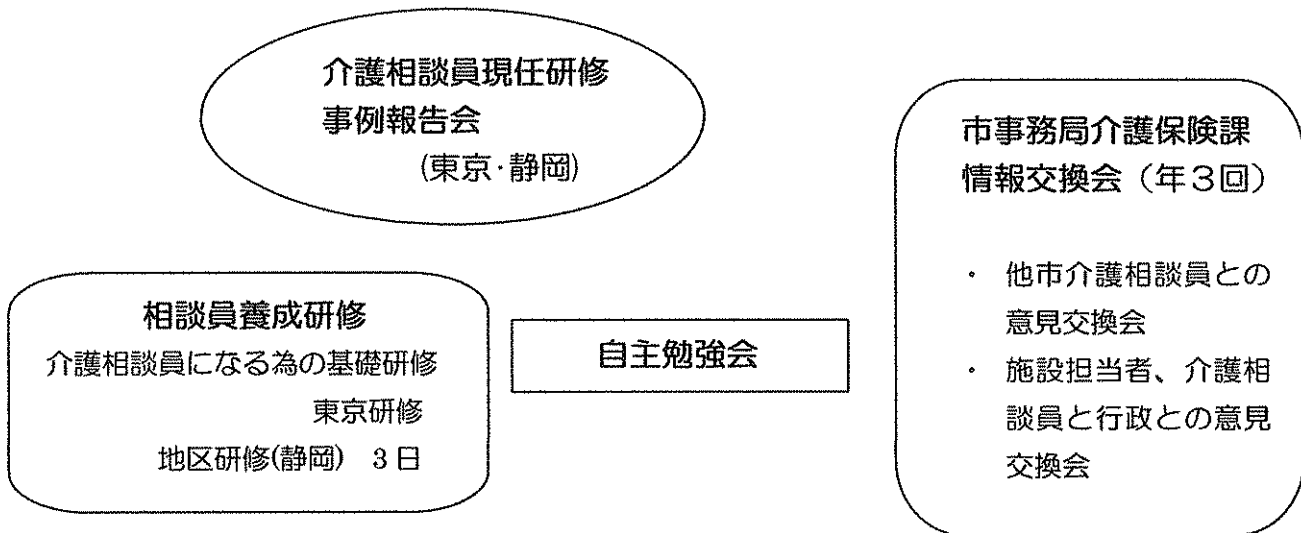
相談内容	経過及び相談結果
<p>家族が預金通帳を持っているため、自分の年金や支払い等がどうなっているか知りたい。</p>	<p>施設職員に伝える。 施設側が、事務上の預金通帳と毎月の支払いのコピーを本人に示した事で、本人も納得した。</p>
<p>自室でラジオを聴きたい。</p>	<p>施設職員に伝える。 ラジカセは家族が用意するようになった。 その後も暫く手元に届いていないようなので、改めて職員からお願いすることで本人にラジカセが届き日中の楽しみが増えた。</p>
<p>コールボタンを何度も押すので職員に迷惑をかけているのではないか。</p>	<p>施設職員に伝える。 甘えたい、構ってほしいという気持ちを汲んでもらえるよう依頼する。 その後、職員の見守りもあり、体の状態も落ち着き、精神的にも安定した様子が汲み取れた。</p>
<p>散歩がしたい。</p>	<p>施設職員に伝える。 施設側からは、定期的に来訪してくれるボランティアが誕生し、外出も予定に入れることを検討しているとの返事をもらう。 施設は交通量が多い場所にあるので、近辺での散歩は危険が伴う。 その後、ボランティアと共に安全な公園等に出かけるようになった。</p>
<p>食事の量が少ないので、おなかがすいてしまう。</p>	<p>施設職員に伝える。 職員から、早速検討するとの返事。 その後、本人から「食事の量は増えたが、油分が少ない。もっとボリュームのあるものを食べたい。しかし持病もあるので我慢する」「体調が維持できているのは食事のおかげ」と納得された。</p>

静岡市介護相談員の活動

私たちは、静岡市の委嘱を受けて、介護保険制度のもと平成12年から介護施設を訪問しています。施設利用者やご家族の困っていること、悩んでいることなどの相談に応じ、利用者と施設・事業者が問題を解決していけるよう橋渡し役をつとめています。



研修は



平成19年度(現任)介護相談員研修状況

日時	研修名	講師	会場	内容
1/30	現任研修	高橋紘士	東京	認知症ケア、地域ケア
3/23	介護相談員意見交換会		静岡	藤枝市介護相談員との意見交換
3/29	全国介護相談活動事例報告会	村田幸子	東京	基調講演「もっと私をよく見て」 相談員活動と聞き手の力
5/30	介護相談員情報交換会	櫻井知世	静岡	グループホームの理解
6/1	自主ミニ勉強会		静岡	困難事例の検討
7/25	現任研修	松井祥子 平井高德	静岡	利用者の人権擁護 認知症高齢者の理解
7/30	現任研修	増田樹郎	静岡	コミュニケーション概論とトレーニング
8/1	認知症研修	高口光子	静岡	認知症についての正しい理解、対応

私たち介護相談員は、新しい情報や基本を繰り返し学ぶことで、より良い相談員となることをめざしています。

2007 年度新人研修を受けた相談員の自己紹介



榎本 昭子

5年前、実母が、ある施設に入所時、二人の孫を連れて面会に行った。ホールにいた入所者が皆笑顔で、握手して喜んでくれた時のことが忘れられません。

何でも安心して話が出来、「次回の訪問を待っているよ」と言われるような、相談員になれたらと思います。



尾上 華子

現在2歳の娘がいる主婦です。

以前から、高齢者の方々のそばに寄り添って行く活動がしたいと思っていました。あまり、チャキチャキ行動する方ではありませんが、いろいろな方の声や、心を、じっくりと真摯にうけとめられるよう頑張りたいです。

よろしくお願いします。



佐々木 亘

東京での養成研修前期が終わりました。盛りたくさんの内容で改めて相談員業務の難しさ、奥深さを知りました。

施設訪問を始めて2ヶ月、先輩の姿を見。また指導を受けながら利用者の代弁者として、施設との橋渡しに頑張りたいと思っています。



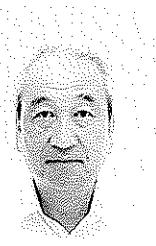
深沢 弘子

知人が介護相談員として、生き生きと活動する姿を見て、私もその仲間に入れたらいいなと思っていた時、相談員の募集があり、応募しました。7月から施設訪問も始まり、先輩の背中を見ながら楽しく活動しています。利用者、事業者、行政の橋渡しとなれば幸いです。



大橋 信子

介護相談員の活動を始め、1ヶ月が無事に経ちました。兎に角、無我夢中の日々。優しい先輩のはげましの中、各施設へ訪問、入所者への対応、専門用語に戸惑いながら、指導して下さる方々に感謝しております。2回目の訪問時、入所者の方から「待っていたんだよ」の言葉を戴き、仕事への大きな喜びに支えられているこの頃です。ひとりひとりを大切に共に生きる喜びを分かち合いつつ豊かな気持ちで過ごせるようにを心がけて行きたいと思っています。



甲田 友彦

03年にヘルパー2級を取得しました。

現在、自営業を営んで居ります。福祉の分野は身近な最重要課題であると思えます。未経験であります。素直な新しい視点で利用者のよき相談相手として、又施設側への良き橋渡し役として自己研鑽するつもりです。どうかよろしくお願いします。



竹島 福江

私は、お花が好きで、フラワーボランティアに参加しています。施設へ訪問をする度に、もう少し話を聞いてあげられたら良いなと思えました。介護相談員になり、利用者さん、施設の職員の方ともお話ができ、介護の大切さを訪問のたびに感じています。行政へと「橋渡し」になるように活動して行きたいと思えます。



望月 千鶴

3年の介護経験をし、まだまだ勉強中です。利用者様、ご家族の思いを汲み、施設との関わりを通して、本人が少しでも自分らしい生活に近づけるよう介護相談員として役に立てればと思っています。

編集後記

平成19年度の広報は私たちが編集等を行い皆様のお手元にお届けします。

近藤康子、新村由美子、杉山道子、堀川玲子、増田好司

